

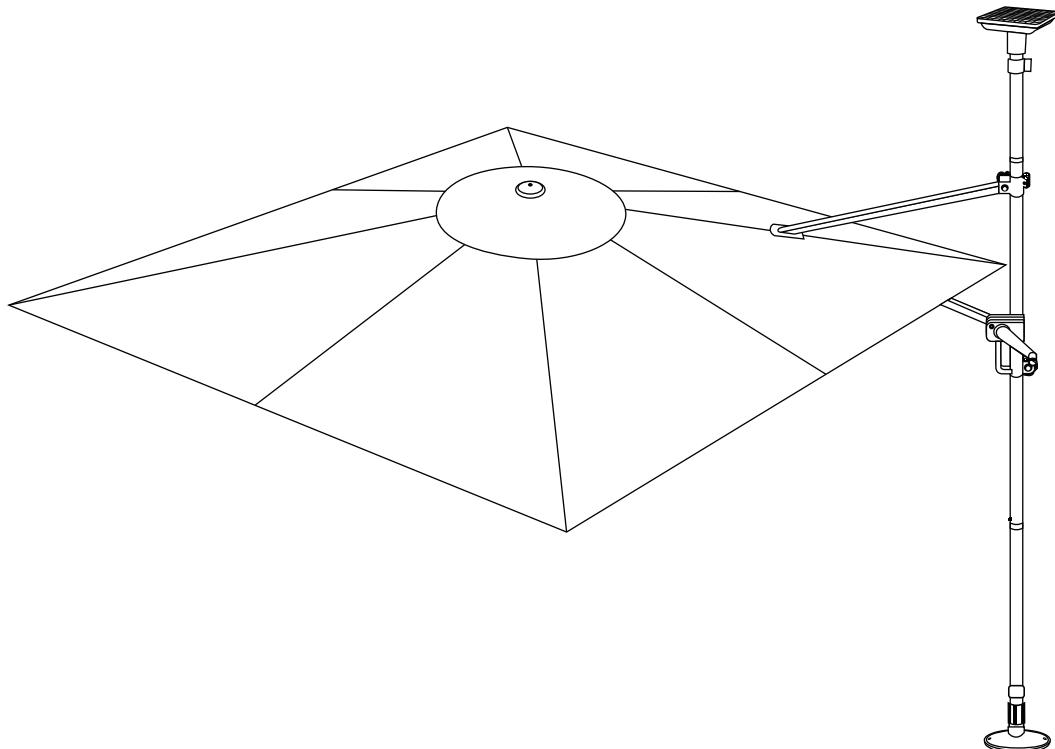
# PARASMART™<sup>2</sup>

パラスマート2

突っ張り棒1本で設置できる、日かけスペース広々の正方形型パラソルです。

## 設置・取扱説明書

- (約)200cm×200cm アイボリー色 PS200-IV2
- (約)200cm×200cm グレー色 PS200-GY2
- (約)200cm×200cm グリーン色 PS200-GR2



組立て動画などはこちら



LINEからのお問い合わせはこちら

特許取得済(第6861354号)  
PATENT PENDING  
MADE IN CHINA

# 必ずお読みください。

## 「設置・取扱説明書」

このたびはパラスマート2をお買い求め頂き、誠に有難うございます。

パラスマート2は、突っ張り棒を利用して設置する正方形型パラソルです。

設置・お取扱いの際には必ずこの『設置・取扱説明書』をよくお読みになって正しくお使いください。

設置作業は2名以上で行うことを推奨いたします。

またお読みになった後は大切に保管してください。

本書では、製品を安全にご利用頂くために次の絵表示を使用して、お守り頂く事項の内容を区分しております。

**⚠ 警告** この絵表示がある項目は、取扱いを誤ると人体に重傷を負う可能性や、死亡につながる可能性があります。

**❗ 強制** この絵表示がある項目は、危険や損傷を回避する為に、特定の行為を指示する『強制』行為を示しております。

**🚫 禁止** この絵表示がある項目は、危険や損傷を回避する為に、特定の行為をしてはいけないという『禁止』行為を示しております。

**⚠ 注意** この絵表示がある項目は、取扱いを誤ると人体に怪我を及ぼしたり本製品を破損したりする可能性があります。

**⚠ 警告** 本製品を次のような場所には設置できません。

高層階のベランダなど、強風や地震等による転倒・落下が想定される場所。避難口や避難はしご等の使用を妨げる場所。その他使用時において、安全性に欠けると思われる場所。

**① 強制** 設置前に必ずご確認ください。

突っ張り棒の受け面(床及び天井)が十分に硬くて丈夫なこと。また長期間、強い圧力や強い振動があつても変形しない面であること。(自安は金づちで叩いても変形・破損しない面であること)突っ張り棒の受け面が水平面に対してプラスマイナス2度以内であること。

**① 強制** ご利用中に必ず実施してください。

パラソルを開く時は回転ハンドルをゆっくりと回し、パラソルの骨組が正しい方向に可動していることや、骨組が窓や壁にぶつかっていないことをご確認ください。

1週間に1度以上の頻度で本体を軽く揺さぶり、突っ張り具合に緩みが無いことをご確認ください。風がある際にはパラソルを畳み、ご使用にならないでください。

強風の際には本体を設置場所から取り外し、屋内に保管してください。

**🚫 禁止** 転倒や破損の原因になります。

設置後、本体を左右方向に回転させないでください。

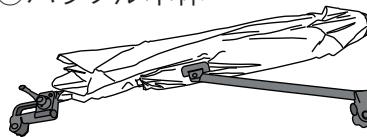
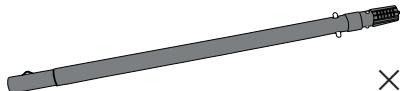
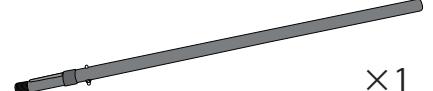
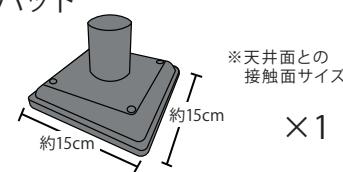
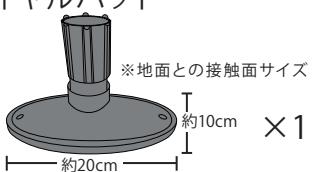
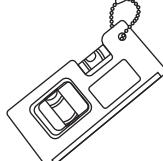
**⚠ 注意**

本製品のパラソル生地には撥水加工を施してありますが、非ビニール素材である為多少の水を通します。

本製品のパラソル生地は紫外線抑止加工を施してありますが、経年劣化により色が少しづつ変化していきます。

## 部品表

本製品を開封したら、最初に下表の部品及び数量を確認してください。

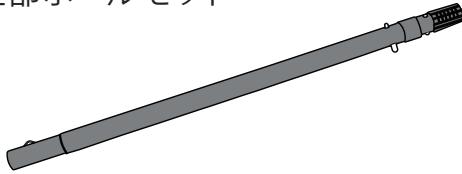
<b>①</b> パラソル本体  ×1	<b>②</b> 上部ポールセット (片側穴1個に、ボルト類接続済み)  ×1	<b>③</b> 下部ポールセット (片側穴3個のうち1個に、ボルト類接続済み)  ×1
<b>④</b> 上部パッド  ※天井面との接觸面サイズ 約15cm ×1	<b>⑤</b> 下部ダイヤルパッド  ※地面との接觸面サイズ 約10cm ×1	<b>⑥</b> ホールキャップ  ×46
<b>⑦</b> 六角レンチ(5mm)  ×1	<b>⑧</b> スパナ(10mm)  ×1	<b>⑨</b> 水準器  ×1

②上部ポールセットは、上部メインポールと、上部サブポールが、ボルト、ワッシャー、袋ナットで仮接続されています。③下部ポールセットも、下部メインポールと、下部サブポールが、ボルト、ワッシャー、袋ナットで仮接続されています。

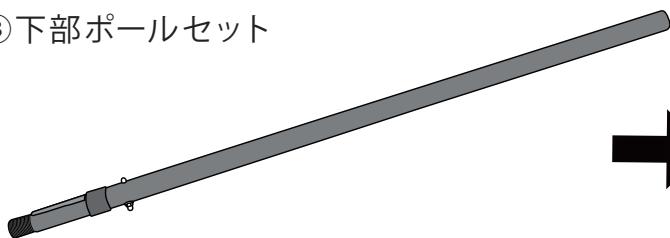
設置を始める前にこれらを一旦取り外し、すべての部品をばらばらにしてください。

#### 【取り外し前】

②上部ポールセット

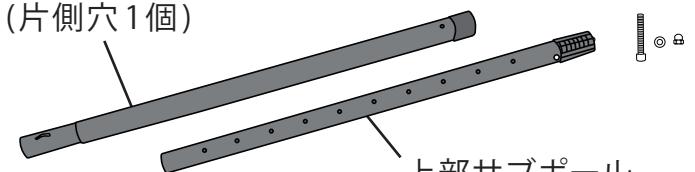


③下部ポールセット

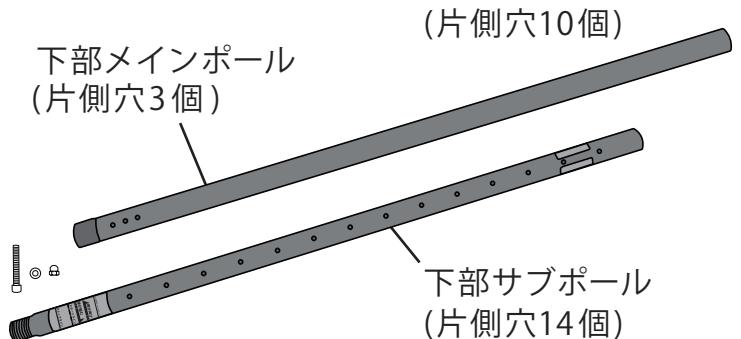


#### 【取り外し後】

上部メインポール  
(片側穴1個)



下部メインポール  
(片側穴3個)



上部サブポール  
(片側穴10個)

下部サブポール  
(片側穴14個)

## それでは実際に作業を開始しましょう。

以下の手順に従って、安全に作業を開始してください。

### 1. 設置環境の確認

下記事項を確認し、取付け場所として適しているか否かを確認してください。

A. 突っ張り棒の受け面が十分に硬くて丈夫な面であること。

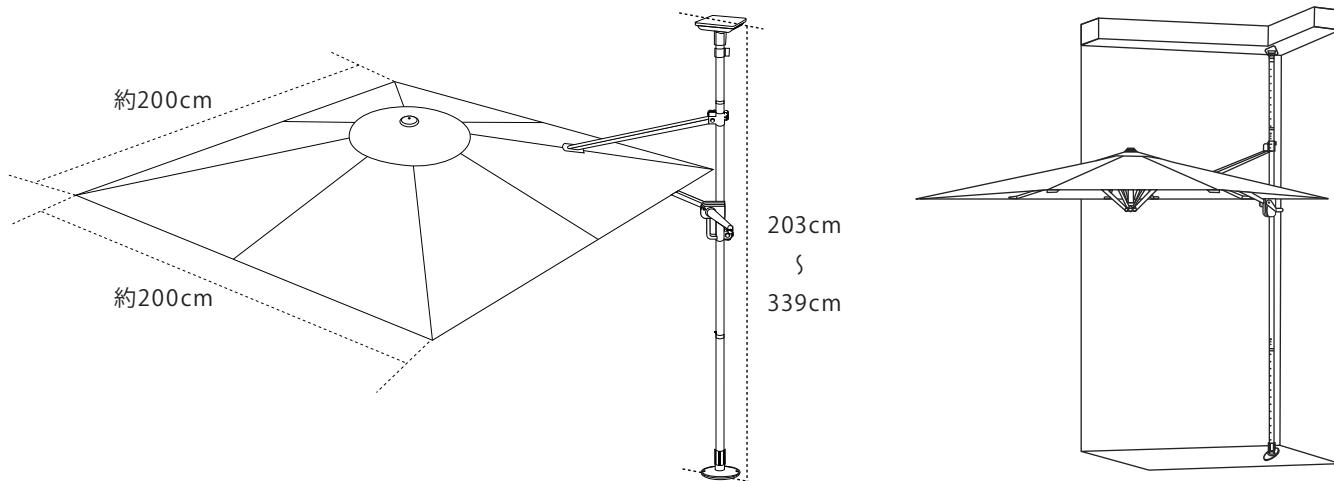
また長期的に強い圧力が掛かったり、強い振動を与えた場合でも変形しない面であること。

(500kg以上の押さえ圧に耐えられる面。目安は金づちで叩いても変形・破損しない面)

=突っ張り棒の受け面が十分に硬くて丈夫な面でないと、本製品は設置できません。

B. 突っ張り棒の受け面(天井・床)が水平面から見てプラスマイナス2度以内であること。

C. 取付け場所の寸法が、本製品の規定範囲内であること。



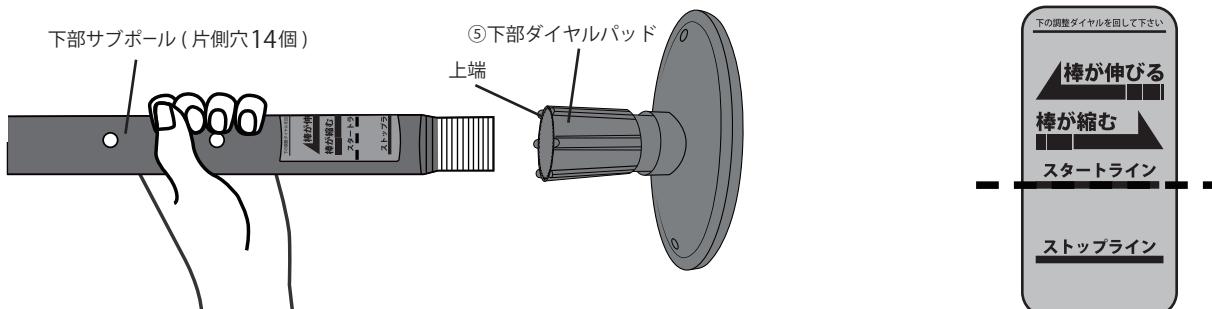
※建物の入隅(90度の角)に突っ張り棒を設置してください。

## 2. 設置

以下の手順に従って設置してください。

### A. 下部ダイヤルパッドの接続

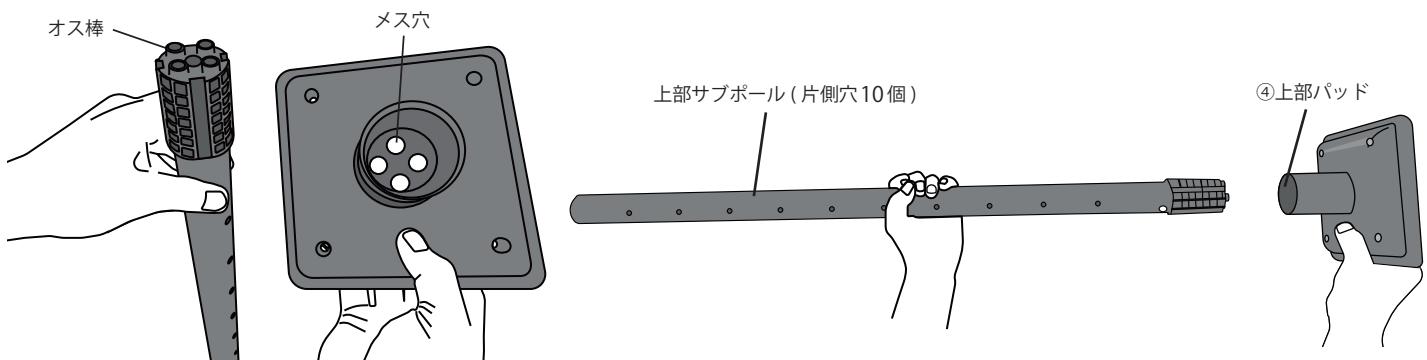
下部サブポール(片側穴14個)に⑤下部ダイヤルパッドを回しながら接続し、⑤の上端がシールの"スタートライン"に重なる位置に合わせてください。



### B. 上部パッドの接続

上部サブポール(片側穴10個)に、④上部パッドを接続します。

上部サブポールの先端にある4本のオス棒が、④の筒の中にある4個のメス穴に入るようにして接続してください。



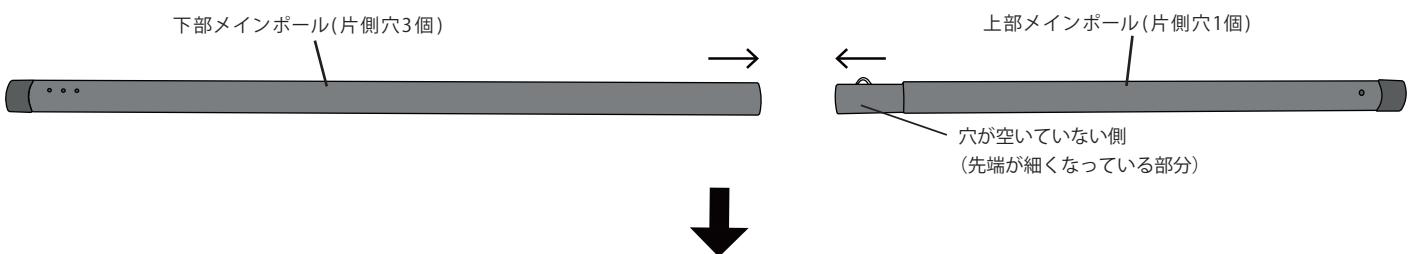
**▲ 注意** 個体差により、オス棒をメス穴に入れる際、強く押し込む必要がある場合がございます。

### C. 上部メインポールと下部メインポールの接続

上部メインポール(片側穴1個)の穴が空いてない側(先端が細くなっている部分)を、

下部メインポール(片側穴3個)の穴が空いていない側に差し込んで接続し、1本の長い棒にします。

#### 【接続前】



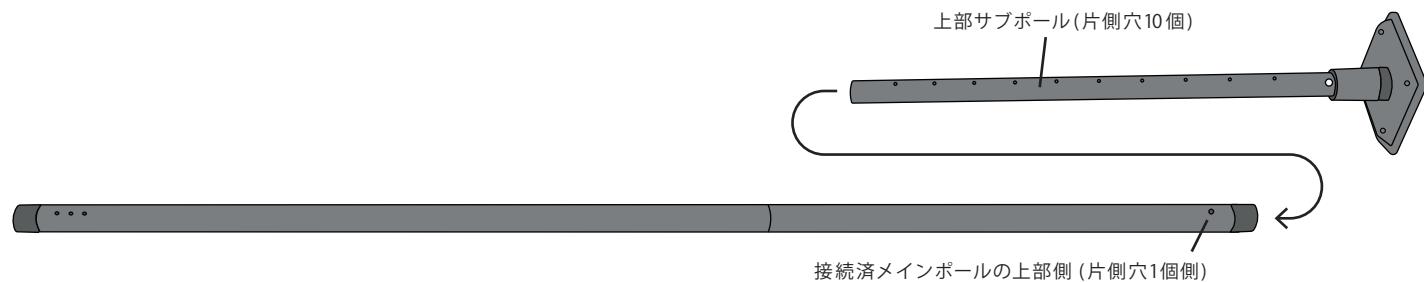
#### 【接続後】



## D. 接続済メインポールに上部サブポールを入れる

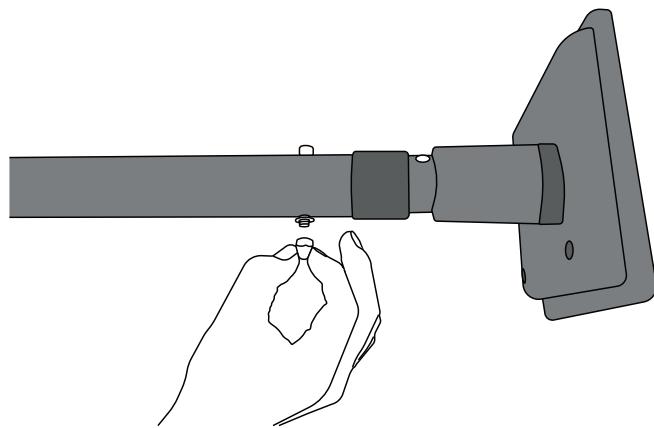
接続済メインポールの上部側(片側穴1個側)に、上部サブポール(片側穴10個)を差し込んでください。

### 【接続前】



奥まで差し込んだら少し引き出して、メインポール上部の穴(片側穴1個)と上部サブポールの一番上の穴が重なり合う位置(全体長が最も短くなる位置)に調整し、作業開始前に外した接続部品(ボルト、ワッシャー、袋ナット)を、付属の工具(⑦六角レンチ・⑧スパナ)で固定してください。

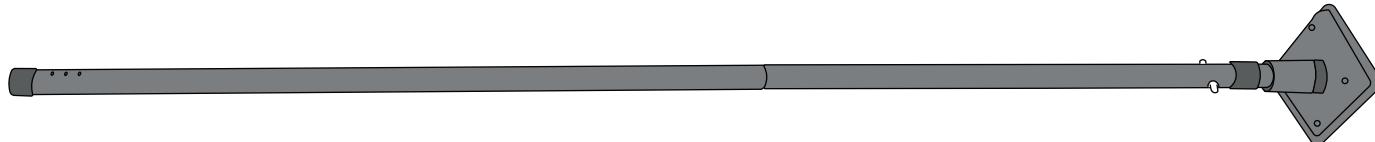
### 【接続中】



**▲ 注意** 工具で固定する際は、力の入れ過ぎにご注意ください。力いっぱい締め込むとポールの穴周辺が凹み、サブポールが引き出せなかったり、引き出す際に傷を付けてしまう可能性がございます。

**▲ 注意** ワッシャーと袋ナットは同じ側に付けてください。

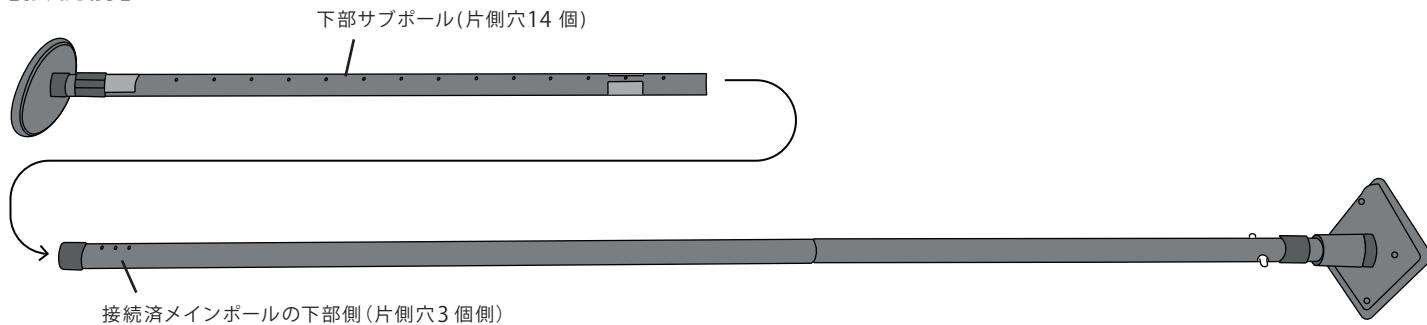
### 【接続後】



## E. 接続済メインポールに下部サブポールを入れる

続いて接続済メインポールの下部側(片側穴3個側)に、下部サブポール(片側穴14個)を差し込んでください。

### 【接続前】



## 【接続後】



### ▲ 注意

接続部品で固定するのは上部サブポールのみです。

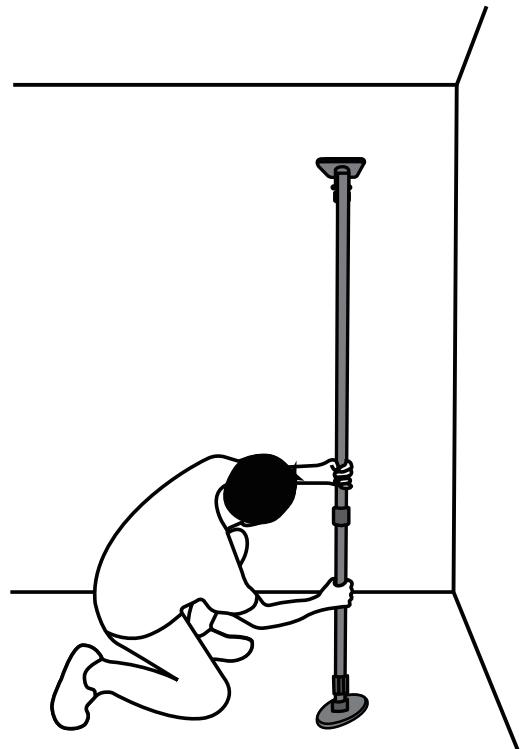
下部サブポールは差したままで、フリーに動く状態のままにしておいてください。

## F. 接続済メインポールと下部サブポールの固定

前項までに組み立てたものを、パラソルの設置予定場所（突っ張り固定する場所）を持って行き、突っ張る床面で垂直に立ち上げてください。

### ワンポイント！

接続済メインポールの中央部に付属の⑨水準器（磁石付）を取り付けると、垂直状態が確認しやすくなります。



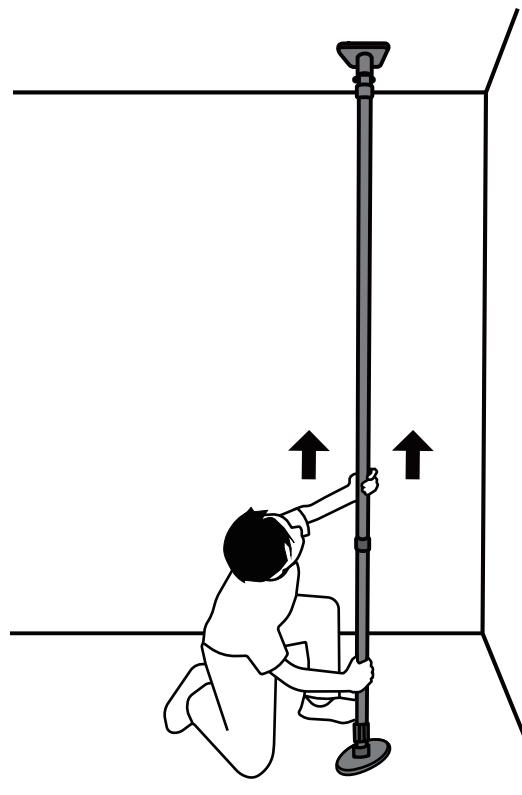
⑨下部ダイヤルパッドを床に付け、垂直状態のまま、  
これ上方向に伸ばしていきます。  
(差し込まれた下部サブポールを引き出していくます)

### ▲注意

必ず垂直方向に立てながら伸ばしてください。

### ワンポイント！

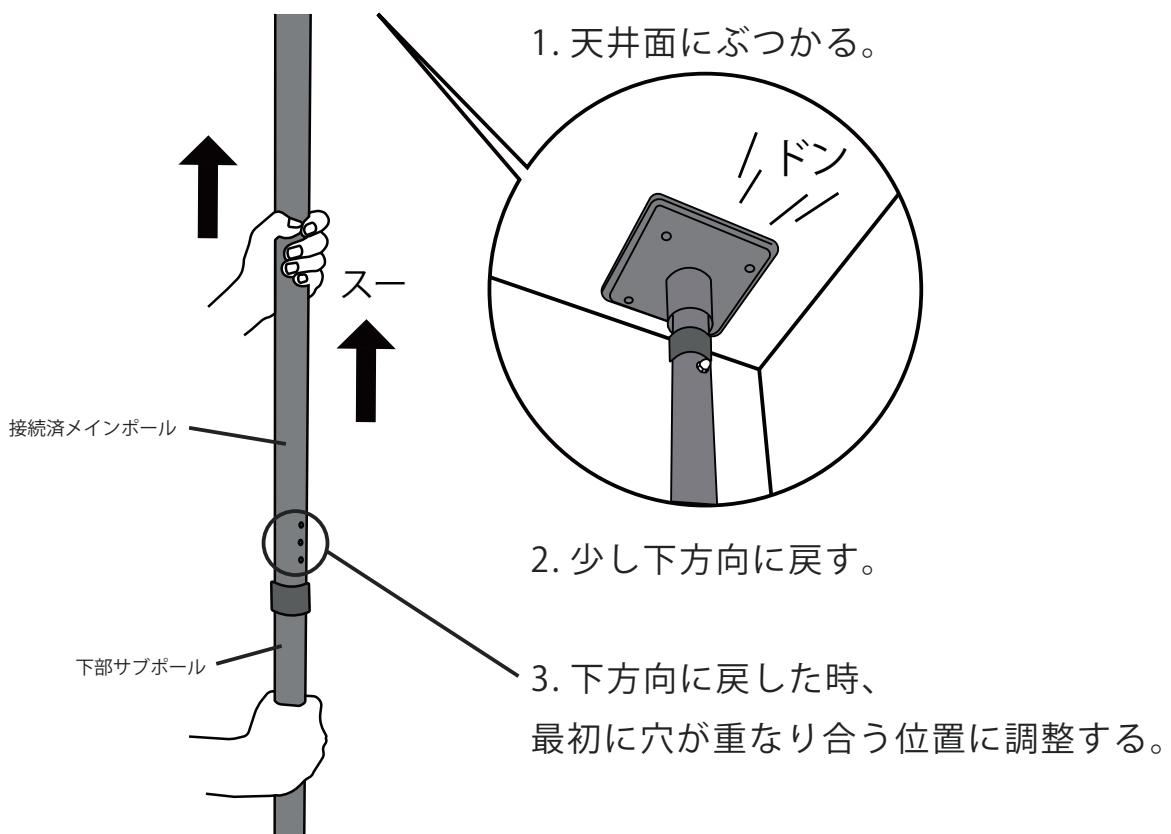
接続済メインポールの中央部に付属の⑨水準器（磁石付）を取り付けると、垂直状態が確認しやすくなります。



### △警告△

垂直状態での作業を行わないと最終的な突っ張り固定が正しくできず、本製品の転倒による破損や怪我などにつながる危険があります。

上方向に目一杯伸ばし、④上部パッドが天井面にぶつかったら少し下方向に戻して、下部サブポールの最も近くの穴が接続済メインポール下部の穴(3個いづれでもOK)と最初に重なり合う位置に調整してください。



この位置で、接続済メインポールと下部サブポールも固定します。

穴と穴が重なり合った位置を保持したまま一旦これを床面に置き、作業開始前に外した接続部品(ボルト、ワッシャー、袋ナット)を、付属の工具(⑦六角レンチ・⑧スパナ)で固定してください。

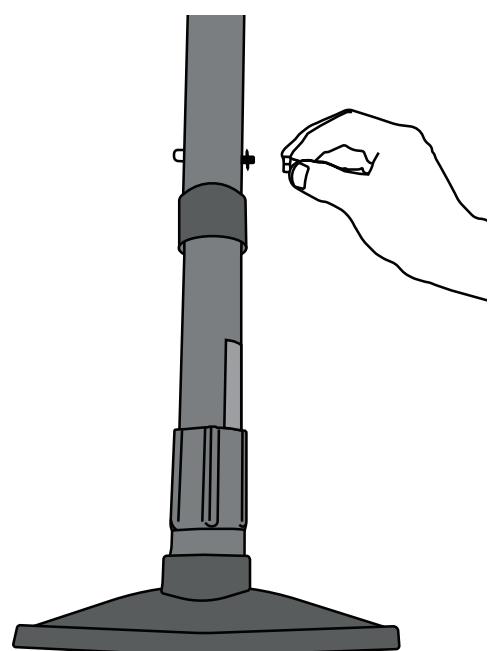
#### ▲注意

ワッシャーと袋ナットは同じ側に付けてください。

#### △警告△

工具での固定する際は、力の入れ過ぎにご注意ください。

力いっぱい工具で締め込むとポールの穴周辺が凹み、  
サブポールが引き出せなかったり、引き出す際に傷を付けて  
しまう可能性がございます。



#### ワンポイント!

上方向に目一杯伸ばしても④上部パッドが天井面にぶつからない(天井に届かない)場合は、上部サブポールと接続済メインポールの接続を一旦切り離し、目一杯引き伸ばして、最も長くなる位置(上部サブポールの一番下の穴)で再度接続し、Fの最初の手順からやり直してください。

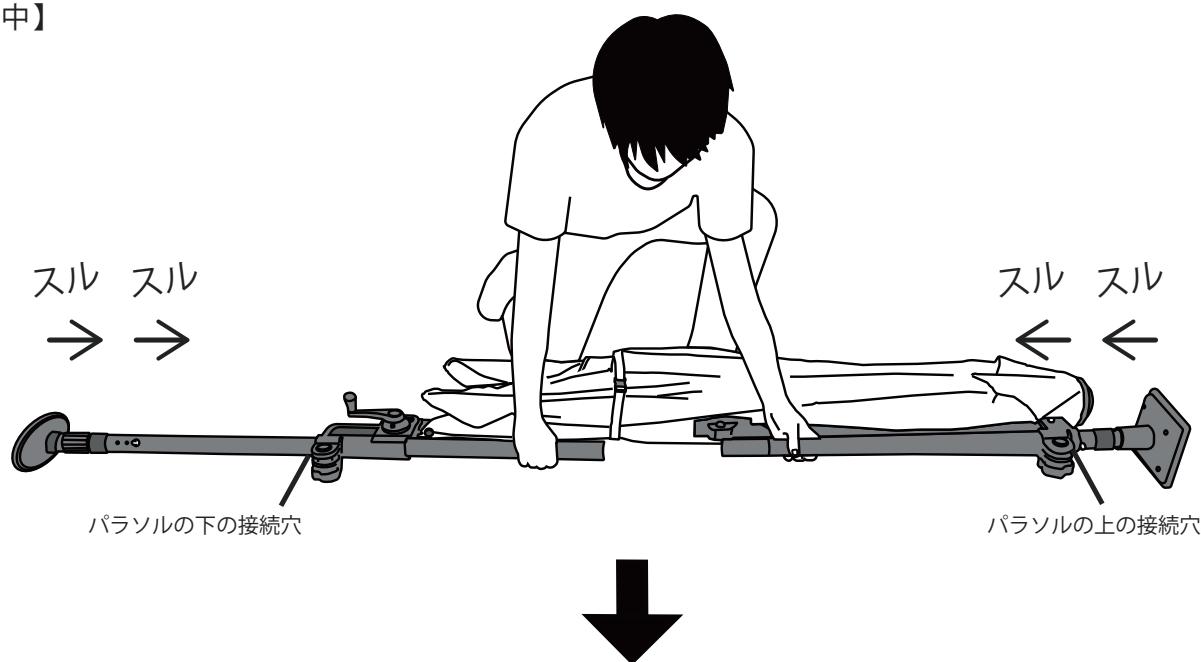
## G. ポールとパラソル本体の接続

前項までに作り上げた状態のまま、メインポール中央の接続部分で、上部分と下部分に切り離してください。

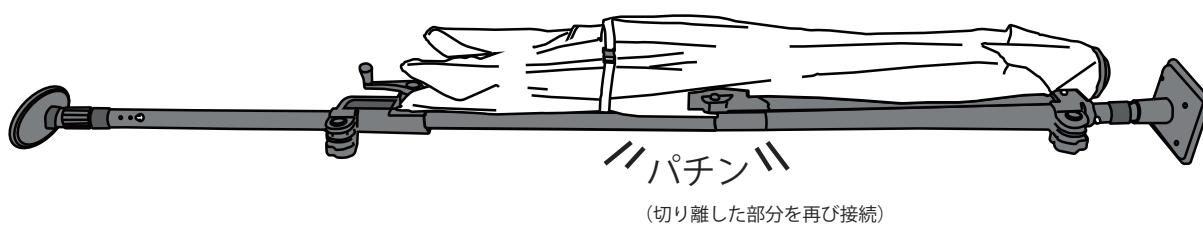


切り離した上部分をパラソルの上の接続穴の上方向から、下部分をパラソルの下の接続穴の下方向からそれぞれ差し込み、切り離した部分を再び接続します。

### 【接続中】



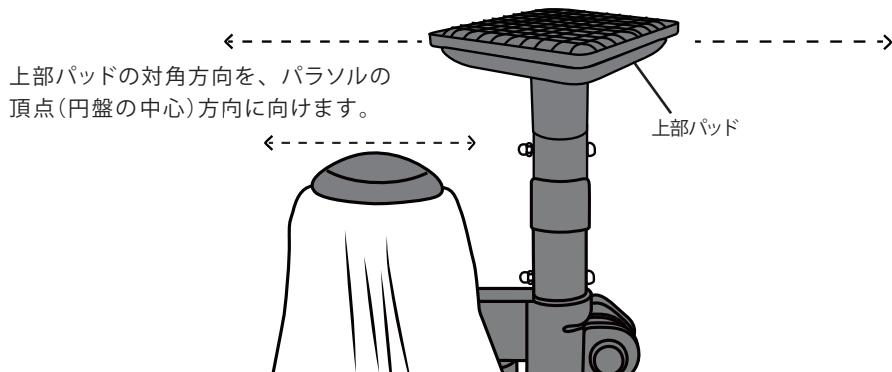
### 【接続後】



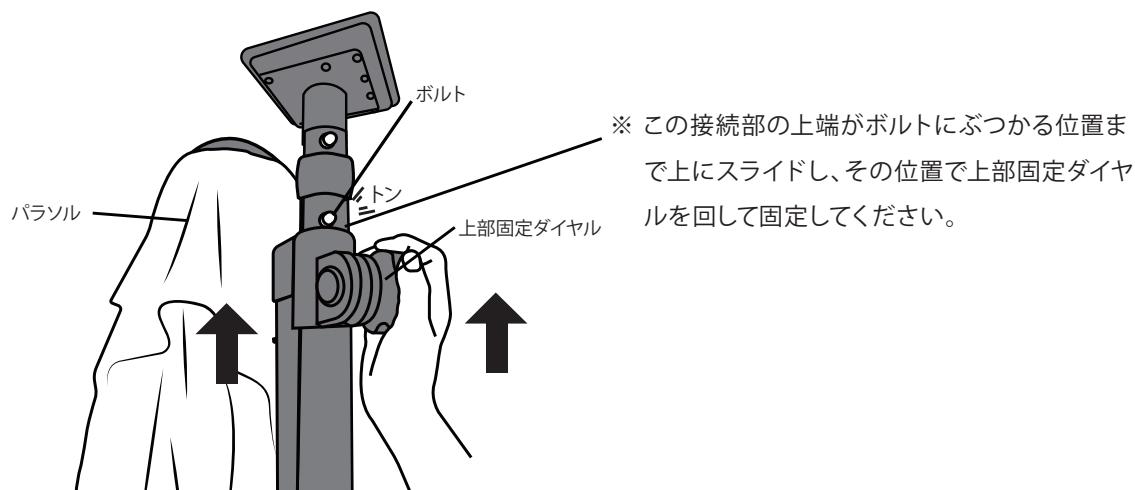
## H. 上部固定ダイヤルの締め付け

上部固定ダイヤルを締め付けることにより、ポールとパラソルの接続を固定します。

上部パッドの対角方向を、パラソルの頂点（円盤の中心）方向に向けます。



上部パッドの方向を保持したままパラソルを上方にずらし、接続部の上端がボルトにぶつかる位置で上部固定ダイヤルをしっかりと締め込み、ポールとパラソルを固定します。

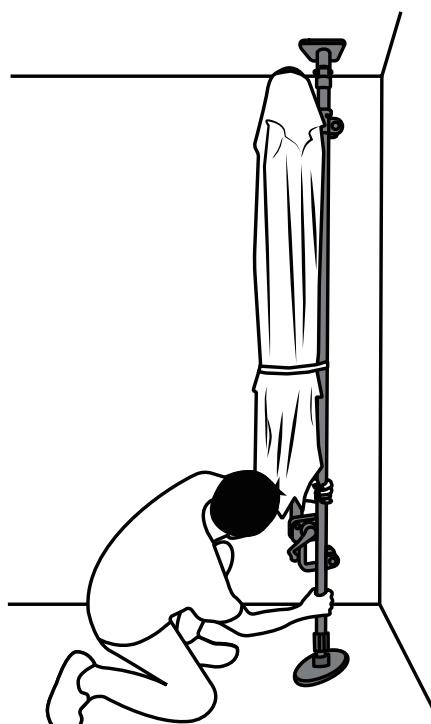


## I. 本体の突っ張り固定

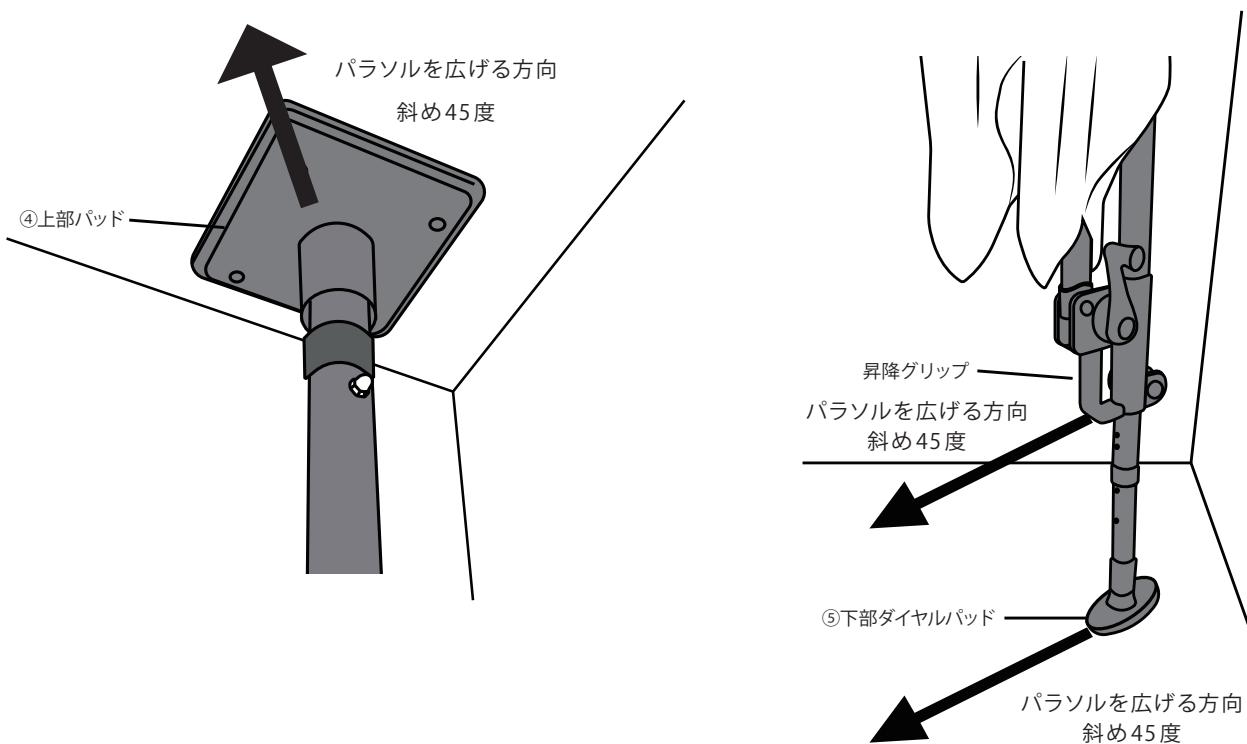
前項までに作り上げたものを、再びパラソルの設置場所（突っ張り固定する場所）を持って行き、突っ張る床面で垂直に立ち上げてください。

### ワンポイント！

接続済メインポールの中央部に付属の⑨水準器（磁石付）を取り付けると、垂直状態が確認しやすくなります。



④上部パッドの角、⑤下部ダイヤルパッド、昇降グリップの3点を、  
(建物の角に対して斜め45度など) パラソルを広げる方向に向けます。

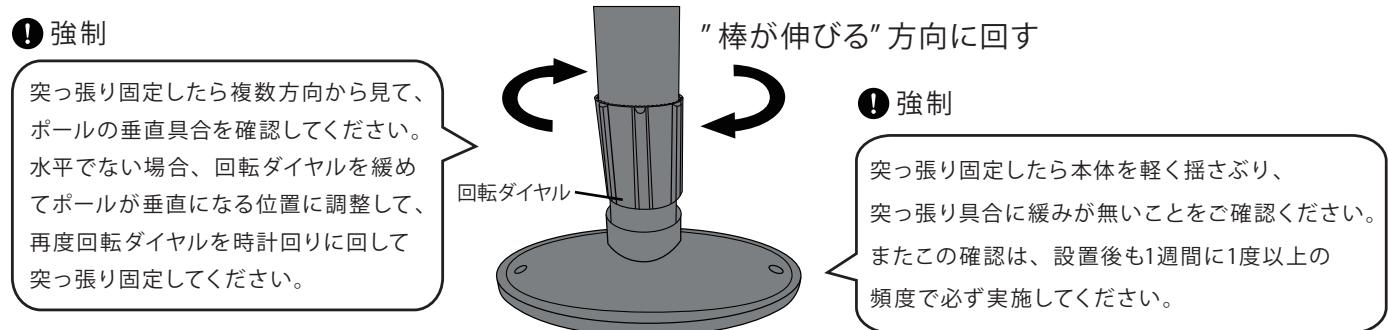


そしてポールが垂直状態になっている事に注意しながら、回転ダイヤルを、"棒が伸びる"方向  
(上から見て時計回り)に回し、突っ張り固定してください。

### ワンポイント!

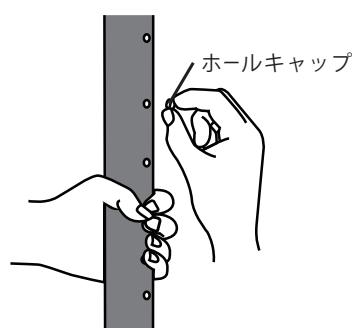
接続済メインポールの中央部に付属の⑨水準器(磁石付)を取り付けると、垂直状態が確認しやすくなります。

**①強制** 下部ダイヤルパッドの上端が「ストップライン」より下にならないようにしてください。  
もし下になってしまったら、Fからやり直してください。



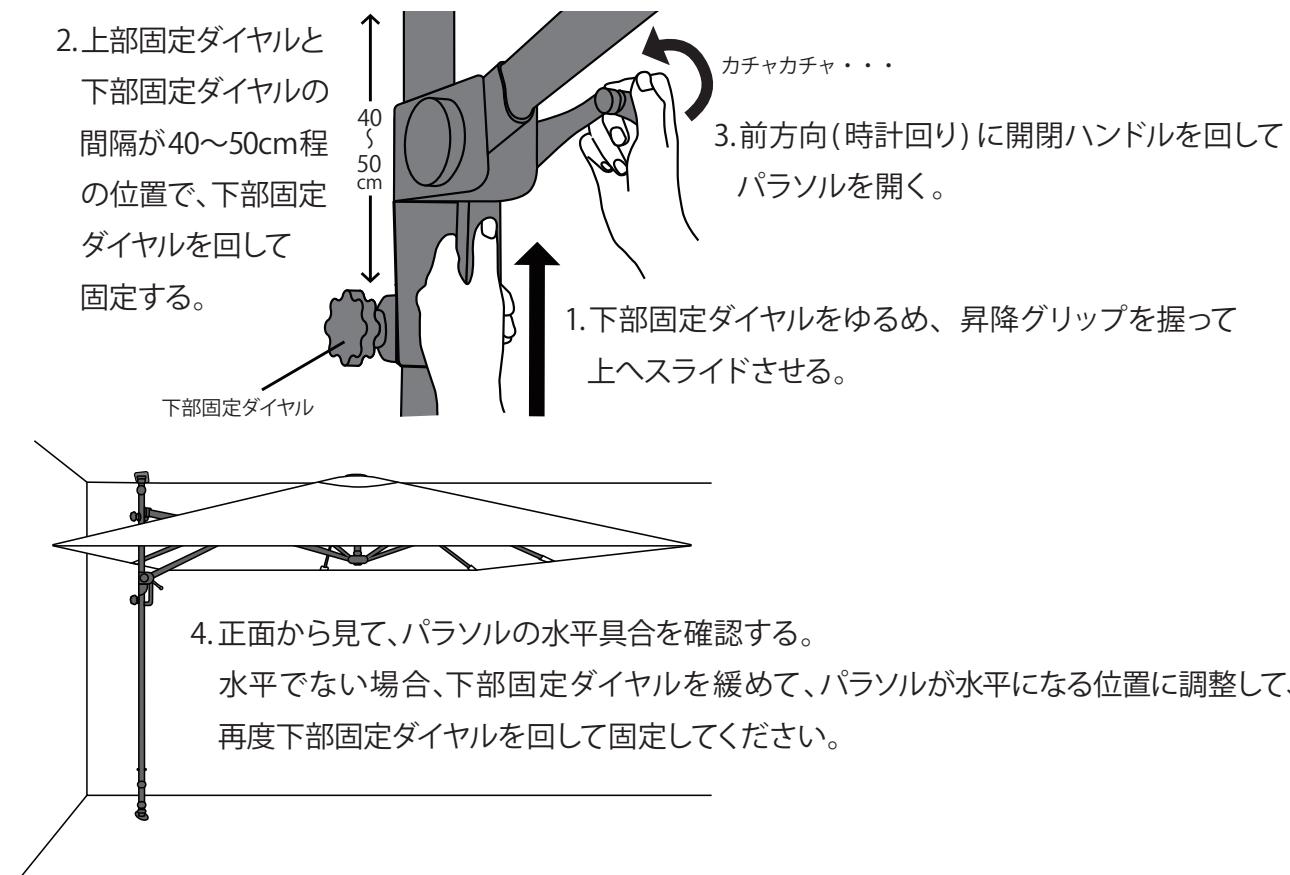
- ①突っ張り固定したら少し離れた複数方向から見て、完全に垂直になっている事を再度確認してください。
- ②垂直になっていない場合は回転ダイヤルを時計反対回り(添付シール"棒が縮む"方向)に回し、一旦緩めてから突っ張り直してください。

各ポールの開いている穴に⑥ホールキャップを取り付けてください。



## J.パラソルを開く

1~4の手順に従って、パラソルを開いてください。



▲J-3では必ず前方向(時計回り)に回し、カチャカチャ(歯車ロックの音)と音がする事を確認してください。誤って後ろ方向(反時計回り)に回してもパラソルは開きますが、使用中に傘が閉じたり、内部の紐が切れたなど故障の原因になりますのでご注意ください。

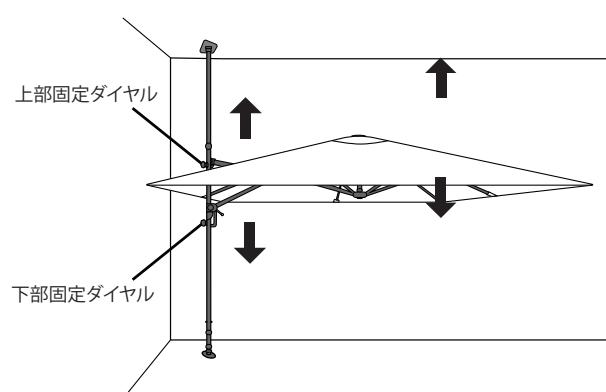
▲パラソルを開く際、パラソルが壁にぶつかって開かない場合があります。

この場合は一旦1~4の逆の手順でパラソルを完全に閉じ、下部ダイヤルパッドの回転ダイヤルを反時計回りに少し回して突っ張り固定をゆるめてから設置する場所を調整して突っ張り固定し直し、再度パラソルが壁にぶつからない事を確認しながらゆっくりと開いてください。

## K.パラソルの高さを調整する。(必要な場合のみ)

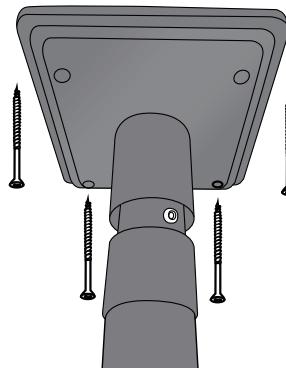
上部固定ダイヤルと下部固定ダイヤルを少しづつ緩めると、パラソルの位置を上下に動かせます。

お好みの高さに調整したら、上部固定ダイヤルを回して固定し、続いて下部固定ダイヤルも回して固定してください。(上下調整幅は約100cmです)



## L.ドリルネジで固定する。(必要な場合のみ)

風などの影響で突っ張り固定強度に不安があり、天井面が木質等でドリルネジが打ち込める場合には、上部パッドの穴4カ所に市販の木工用ドリルネジ(呼び径3.8×長さ60~90mm推奨)を打ち込んでください。



### 3. 設置の最終確認

取付状態の最終点検をしてください。

またこの最終確認で不具合が生じたらその箇所に該当する本書の項目を再読し、本書に従って正しく設置し直してください。更に設置後も、以下事項の点検を週に1回以上の頻度で必ず実施してください。

\*今一度、付属の水準器を使用して、完全にポールが垂直になっている事を確認してください。

\*付属の工具を使用し、各項目で接続したボルトと袋ナットがしっかりと締まっている事を確認してください。

\*本体のポール部分を握り、軽く揺らし、しっかりと突っ張っている事を確認してください。

\*本体のポール部分を握り、軽く回し、しっかりと突っ張っている事を確認してください。

\*「J.パラソルを開く」と反対の手順でパラソルを一旦閉じてください。

その後何度も開閉を繰り返し、問題なく日々の開閉動作が出来る事を確認してください。

**これで完成です。**

**パラスマート2で軒先を日差しから守り、快適なスペースとしてご利用ください。**

### 4. 使用上の注意

**▲ 注意** 本製品のパラソル生地には撥水加工を施しておりますが、非ビニール素材である為多少の水を通します。

**▲ 注意** 本製品のパラソル生地は紫外線抑止加工を施しておりますが、経年劣化により色が少しづつ変化していきます。

**① 強制** 夜間や留守中等、人目から離れる際には、必ずパラソルを閉じ、縫い付けのバンドで本体ポールに固定してください。

**① 強制** 強風、大雨、大雪、その他悪天候の時はご使用にならないでください。

特に台風、豪雨、大雪等の悪天候の際には、事前に本製品を取り外し、屋内にて保管してください。

**① 強制** “3.設置の最終確認”にある各項目の点検を週1回以上実施し、不具合が生じたらその箇所に該当する本書の項目を再読し、本書に従って正しく設置し直してください。

**② 禁止** 本製品に寄りかかったり、点検以外の目的で搖さぶったり、物を載せたり、引っ掛けたりしないでください。

**△ 警告** 本製品は家庭の軒先に設置する、突っ張り固定式正方形型日よけパラソルです。

本製品を本来の目的以外で使用したり、お客様による改造等はしないようお願い致します。

### 5. お掃除・お手入れについて

\*日常のお手入れは、乾いた布で軽く拭いてください。汚れがひどく、洗剤を使用したい場合は、必ず対象洗剤の説明書をよくお読みになり、適合している場合にのみご使用ください。また使用する際は目立たない場所で少量を試し、問題無いことを確認してから広い面積にご使用ください。

\*可動部分への潤滑油、金属部分のさび止め剤、生地部分の防水スプレー等の塗布は、必ずそれぞれの説明書をよくお読みになり、適合している場合にのみご使用ください。また使用する際は目立たない場所で少量を試し、問題無いことを確認してから広い面積にご使用ください。

### 6. その他

本製品は重量があり、雨風等の影響を受ける屋外に設置するため、正しく取り付けてご使用にならないと本製品を破損するだけでなく、重大な事故につながる恐れがあります。

設置・ご使用の際にはこの『設置・取扱説明書』をよくお読みになり、正しくご使用ください。

設置後、絶対に倒れないという保証はありません。“3. 設置の最終確認”にある各項目の週1回以上の点検を必ず実施してください。



組立て動画などはこちら



LINEからのお問い合わせはこちら

発売元：株式会社イコマ

〒251-0012 神奈川県藤沢市村岡東 2-8-4 イコマガーデンビル 1F

お問合せ先：📞 0466-23-0388

✉️ koma@ikoma-corp.com

(土日・祝日・夏季年末年始等を除く 月～金 10:00-17:00)